

令和4年10月1日

エンジニアリング協会 関係者の皆様へ

一般財団法人 エンジニアリング協会
専務理事

前野 陽一

例年のこととはいえ、9月は台風が多数発生し、甚大な被害をもたらしました。心よりお見舞いを申し上げます。さて、皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

9月は、国内外で国葬が行われるという、極めて異例な月となりました。

9月19日(月)には、英国でエリザベス女王陛下の国葬が執り行われました。私も、BBCの放送で見えておりましたが、チャールズ新国王を始め、多くの参列者が軍服を着用していること、讃美歌が何回も歌われていたこと、棺が透明の霊柩車でウィンザー城まで運ばれていたこと、女王陛下が飼っておられた馬や犬も参加していたことなど、昭和天皇陛下の大喪の礼を見た私としては、「かなり日本とは違うなあ」という印象を受けました。英国のみならず、私のように女王陛下の国葬を見ていた人々はかなりいるはずで、「英国の底力」を感じた次第です。

ところで、今まで英国大使館公使のインタビューをしたり、英国の再生可能エネルギーを紹介するセミナーをしたりしたご縁もあって、英国大使館で、女王陛下に対する弔問を行うこととお許しいただきました。9月13日(火)に、英国大使館を訪れましたが、皇族、大臣を始め、数多くの弔問客がお越しになっていました。弔問客は、大使館内でメッセージを書くこととなっており、私もエンジニアリング協会を代表して、記帳させていただきました。本来であれば、英語で書くべきだと思うのですが、万が一、失礼な表現があってはいけないと考え、日本語で弔意を述べさせていただきました。

また、9月27日(火)には、安倍晋三 元内閣総理大臣の国葬儀が日本武道館で行われました。こちらについては、内閣総理大臣である岸田文雄国葬儀委員長名で、当協会の山東理二理事長あてに、参列の案内が送付され、山東理事長が出席されました。安倍元内閣総理大臣は、「地球儀を俯瞰する外交」を掲げ、世界各国を駆け回り、多くの要人からの信頼を得ておられました。世界各地でビジネスを行うエンジニアリング業界にとっても、大変にお世話になった方でした。

エリザベス女王陛下及び安倍元内閣総理大臣お二人のご冥福をお祈りいたします。

以下、9月の主な活動についてご報告申し上げます。

[主要な活動内容]

1 講演会等の開催

9月には、ビジネス講演会を4件、エンジニアリングの最新DXセミナー1件、安全法規に関する講演会1件及び不公正貿易報告書等に関する説明会1件を実施いたしました。

10月には、ビジネス講演会を3件及びエンジニアリングの最新DXセミナーを1件行う予定です。全てZoom Web配信で実施いたします。また、既にご案内しておりますが、10月19日(水)には、日本教育会館一ツ橋ホールにて「エンジニアリングシンポジウム2022」を開催いたします。今回、初めてオンライン参加を実施いたします。

多くの方のご参加をお待ちいたしております。

2 原子力発電環境整備機構 (NUMO) 梅木博之理事ご来訪

9月5日(月)に、原子力発電環境整備機構 (NUMO) の梅木博之理事をはじめとするスタッフの皆様が、当協会をご訪問いただきました。

NUMOは、「特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律」に基づき、放射性廃棄物の安全な最終処分を実施するための組織で、現在様々な調査研究等を行っております。

当協会の賛助会員企業にも、関心を持ってNUMOの事業に参加してほしい、とのことであり、講演会を実施する方向で、調整をしていくこととなりました。

3 企画会議 開催 (エンジニアリング白書の公表など)

9月13日(火)に、WEBによる企画会議を開催いたしました。

企画会議では、2022年度『エンジニアリング産業の実態と動向』(エンジニアリング白書)の公表など、最近の協会の活動状況についてご説明しました。

エンジニアリング白書については、これまでに日刊工業新聞、化学工業日報、建設通信新聞などの日刊紙とともに、ENNなどの業界誌、合計6紙誌に記事が掲載されました。

会員の皆様には、当協会の会員のページから、概要を見ることができます。是非ご覧いただければ幸いです。

(<https://www.ena.or.jp/information/pub/white-paper/page?id=57836>)

4 在日米国大使館 商務部主催のレセプションに参加

9月13日(火)に、在日米国大使館 商務部主催のレセプションに参加しました。場所は、六本木にある在日米国大使館首席公使公邸で、「六本木の繁華街のすぐそばに、こんな閑静な住宅街があるのか」と思うような場所でした。

Raymond F. Greene 臨時代理大使を始め、10名以上の大使館職員の方とお話することができました。

5 環境省 地球環境審議官 小野洋様へのご訪問

9月28日(水)に、環境省地球環境審議官 小野洋様をご訪問しました。歴代の地球環境審議官の皆様には、当協会でのご講演や、賛助会員企業との意見交換会をお願いしており、小野様にも、同様のお願いをいたしました。

6 LNG 産消会議 2022 へのビデオメッセージの寄稿

9月29日(木)に開催された LNG 産消会議 2022 に、山東理二理事長の英語によるビデオメッセージを寄稿しました。

会議は終了しておりますが、LNG 産消会議 2022 の WEB にアクセスすれば、ビデオメッセージを見ることは可能です。また協会ホームページにも掲載しておりますので、是非一度ご覧ください。

(<https://www.lng-conference.org/>)

7 コソボ共和国 アルビン・クルティ首相の講演

9月28日(水)に、駐日コソボ共和国大使館と(一財)海外投融資情報財団主催の「コソボへの投資と可能性」というセミナーに参加しました。

セミナーでは、アルビン・クルティ首相やヘクラン・ムラティ財務・労働安全衛生大臣などの講師のお話がありました。「コソボ国民の平均年齢は、31歳」「ほとんどの国民が英語とドイツ語を話す」「NATOには加盟していないが、NATO軍は駐在しているので安全保障の問題はない」「現在電力は石炭に頼っており、再生可能エネルギーの導入や、エネルギー利用の効率化が課題」など、普段聞くことができない話が聞けました。

8 その他

10月16日(日)に中国共産党の党大会が開かれることとなっており、習近平主席が、異例の3期目に突入するのは確実、とも言われています。

そうした中で、ニューヨークの外交問題評議会(CFR)の発行する外交専門誌(Foreign Affairs)の中で、「The Weakness of Xi Jinping」と題するおもしろい論文を見つけました。著者は、長年「共産党幹部学校」の教授をしていた方で、現在は米国に亡命しています。著作権の関係もあり、内容について、ここで書くことはできませんが、共産党政治局常務委員会の様子を詳細に書いており、他にこのような文献を読んだことはありません。

私は、英語版のホームページで見つけて読んだのですが、何故か日本語版のサイトでは、この論文を見つけることができませんでした。この論文に書いてあることが真実なのであれば(おそらくそうなのでしょうが)、習近平主席というのは、上司としてもなかなか難しい方の方ようです。

10月の講演会の実施について

令和4年10月1日
エンジニアリング協会
専務理事 前野陽一

10月は、ビジネス講演会を3件及びエンジニアリングの最新DXセミナーを1件行う予定です。全てZoom Web 配信で実施いたします。また、既にご案内のとおり、「エンジニアリングシンポジウム2022」を10月19日（水）に日本教育会館 一ツ橋ホールにて開催いたします。今回はオンライン参加も受け付けておりますので、是非、多くの方のご参加をお待ちいたしております。

なお、正式なご案内は、別途お送りいたします。

1 日中関係、中国情勢、国際関係の最新動向を踏まえた今後の日中経済関係 (10月4日（火）外務省 アジア大洋州局 審議官 岩本 桂一 様)

世界第2位の経済大国である中国は、日本にとり最大の貿易相手であり、日系企業も最多の進出拠点を構えます。また、今年は日中国交正常化50周年の節目の年であるとともに、中国では10月に第20回党大会が開催され、今後5年間、中国をリードする最高幹部の顔触れが決定される予定です。

今回の講演では、外務省で中国との交渉を長年なさっておられる岩本様から、日中関係の将来をご説明いただきます。

中国と何らかのかかわりを持つ方々には、是非お聞きいただきたいと思います。

2 新興国等の脱炭素移行に向けた環境省の包括的な取組

～ インフラ展開も含めて ～

(10月5日（水）環境省 地球環境局

国際脱炭素移行推進・環境インフラ担当参事官

水谷 好洋 様)

新興国・途上国における脱炭素社会への移行を促進するため、環境省では、「脱炭素移行政策誘導型インフラ輸出支援」として、上流（政策協議、長期戦略策定支援、計画策定、法制度整備支援）から下流（案件形成、事業実施支援）まで一元的・包括的な支援を行っています。

この講演では、担当責任者である水谷様から、本制度の概要を含め、日本企業が有する脱炭素技術、ノウハウの海外展開や脱炭素ビジネスの拡大に資する環境省の取り組みをご説明いただきます。

環境関連のビジネスを行っておられる方、海外営業関連部門の方に、ご参加いただければ幸いです。

3 第2期 エンジニアリングの 最新DXセミナー（第3回）
～ エンジニアリングのDXを加速するスマート標準規格 ～
（10月13日（木）横河電機株式会社 出町 公二 様）

DXにおけるシステム連携の重要性と、その連携を加速するための鍵を握る「スマート標準規格」の意義についてご説明いただくとともに、ISO や IEC など国際標準化機関におけるスマート標準規格の検討状況についてお話しいたします。

4 プラントエンジニアリングにおけるドローン活用と DX
（10月26日（水） 株式会社 センシンロボティクス 吉井 太郎 様）

株式会社 センシンロボティクスは、業務における「労働力不足・ミス防止・安全性の向上・時間・コスト」や災害発生時の迅速な対応など、様々な課題をドローンで解決するビジネスを実施しておられる企業です。

今回の講演では、ドローンを始めとするロボティクス技術を活用した自動化・省人化について、プラント保全を主なテーマに、ロボティクスを活用したDXの実現について、最新の事例を交えてお話しいたします。

ドローンを活用して、業務の効率化を考えておられる方には、必ずお聞きいただきたいと思います。

【第18回】

αCIVIL 株式会社アルファシビルエンジニアリング

代表取締役社長 酒井 栄治 氏

地下非開削工事のパイオニア ～地下空間構築技術のさらなる深化を求めて～

株式会社アルファシビルエンジニアリングは、創業者の酒井栄治様が部門長をしておられた新技術工営株式会社推進事業本部から、1999年分社となり設立された「非開削技術による地下工事」の専門企業です。分社化から6年経過した2005年には、ホールディング傘下から離脱され独立独歩の企業体となりました。同社は、安全性が高く経済的で工期短縮が可能な都市トンネルを「ボックス推進工法」で、円形管渠埋設には「超流セミシールド工法」という二つの優れた技術を持ち、工法や掘進機に関する特許を60以上保有しています。また、これらの技術を広く普及させるため、「ボックス推進工法技術協会」及び「超流セミシールド工法技術協会」という二つの「一般社団法人」を設立して事業本部を担い、国土交通省ほか、数多くの公的団体から表彰を受けておられます。今回は、同社の保有する優れた技術を中心に、お話を伺いました。



矩形のトンネルを掘り進める 「ボックス推進工法」

— 私はトンネル工事に関しては、全くの素人であり、トンネルというものは、どこでも円形のシールドマシンを使って掘るものだろう、と思っていたのですが、御社のホームページに掲載されている動画を見て、矩形のトンネルを掘る掘削機がある、と知って大変驚きました。まず、この工法についてご説明いただけますか。

酒井 はい、まず、現在の都市トンネルを思い浮かべてほしいのですが、円形中心のシールド工法を除き、推進工法では大中口径のインフラ管路が中心で、雨水管路、上下水道、高压電力などの埋設に限られています。地下鉄・自動車道・人道等のシールドトンネルでは、円形で掘削をおこなった後、下部には平らなインバート工が必要となります。それなら、必要断面より大きな

円形トンネルを掘り進めるのではなく、最初から一気に計画上の矩形掘削をおこなった方が、余分な掘削を減じ、二次工程の内面作業も行う必要もなくなり、コストダウンにつながります。当社以外にも、矩形トンネルを構築する技術はありますが、施工条件や適用範囲が限られています。そういった課題を最小限にとどめる施工法が、当社の「ボックス推進工法」と考えています。

——ところで、御社の「ボックス推進工法」の技術を、できるだけわかりやすくご説明いただけますか。

酒井 「ボックス推進工法」を言葉で説明するのは、なかなか難しいので、興味を持たれた方は、是非当社のホームページの動画※¹を見ていただきたいのですが、できるだけわかりやすくご説明しましょう。

当社の「ボックス推進工法」についてわかりやすさを優先して申し上げれば、「カッタ部を多軸・自転・公転方式とし、それぞれの自転軸に偏芯ピットを装備し、遊星機構となる自転カッタが360度移動しながら分割掘削をおこなう構造で、公転1回転で矩形断面を一

度に掘削できる掘進機を用いた矩形掘削技術」ということができます。

——確かに、動画で見ると一目瞭然なのですが、言葉で説明することは大変難しいですね。ところで、この「ボックス推進工法」の具体的なメリットといったものは、どのようなものなのでしょうか。

酒井 まず、必要とされる地下構造物断面を一工程で構築することができるため、大幅な工程短縮が可能となります。すなわち、工場で製作した高品質のプレキャストボックス函体を地下に埋設することで、永久構造物としての信頼性も高く、駆動部の組み合わせにより大断面トンネルから小口径函路まで適応でき、複雑で多様な地盤の掘削が可能なることも特長だと思います。シールド工法に比べて、省スペースでの施工が可能なることから、子供たちが通うスクールゾーンの横断通路や共同溝、長方形の大断面雨水渠、交通量が多い交差点の地下通路、歩行者優先通路として開かずの踏切対策にも最適工法と考えています。

——この工法の適用範囲は、かなり広そうですね。

酒井 最近おこなった工事としては、九州ではJR軌道下の長方形雨水渠があり、東京では大江戸線勝どき駅から、勝どき東地区第一種市街地再開発地区への大型地下通路を施工させて頂きました。この工事は、組立式の二次製品を使用した地下空間としては日本最大級の大断面工事があり、供用開始後には是非見ていただければと思います。

長距離、急曲線、 玉石・岩盤掘進が特徴の 「超流バランスセミシールド工法」

——「ボックス推進工法」と並んで、御社が押し進めておられる「超流バランスセミシールド工法（泥濃式・泥土圧式推進工法）」についても、ご説明いただけますでしょうか。

酒井 こちらについても、是非多くの方々に動画※²をご覧いただきたいのですが、この工法を一言で言えば、「長距離、急曲線、広範囲土質（堆積層～玉石混入地盤・岩盤）に対応した、切羽の止水性や地盤の緩み防止に重点を置いた掘進工法」です。

当初の推進工法は、100m程度の短距離かつ直線での管路埋設を基本として開発された非開削技術です。しかし、時代が進むにつれて、道路事情に応じた路線設定や立坑構築が不可能な環境下での施工が求められ、多曲化や長距離化への技術開発が加速し、適用範囲拡大に拍車がかかりました。その後、占用面積の省力化、工期短縮、コスト縮減において推進工法の優位性が際立ちました。当社も1kmの長距離現場（秋田県内）を複数経験し、超急曲線掘進機の開発により曲線半径15m以下、交差点を直角に曲がるL型路線、掘進機が元に戻るUターン路線も可能となりました。

——おっしゃることはわかりますが、実際行うとなるとなかなか難しそうですね。

酒井 はい。シールド工法の場合は、シールド機の仮掘進が終了すれば、後続胴管内で組み立てたセグメント（一次覆工）がジャッキの反力受となります。そのため稼働範囲はシールド機とエレクター管（セグメント組立胴管）が前方に移動するだけです。これに対して推進工法は、発進立坑から推進機と全推進管が一体となって移動するため、推進力が増大すれば管体が破損しかねません。よって、管外周部の周辺摩擦力の低減が最重要課題となります。高低差精度は水压センサーによるリアルタイム管理、水平精度は光波測距（レーザ）やジャイロシステムによる組み合わせ管理が求められます。

——推進工法の難易度の高さや技術的な発展の経緯はよく分かりました。御社はそのような非開削技術をリードしてきた企業の一つですね。



国道6号（茨城県内）横断車歩道掘進機 到達

施工の責任はすべて負う

— 御社のパンフレットを見ると、今ご説明いただいた二つの工法以外にも、現場の状況に合わせて様々な工法を提案されておられることがわかります。ただし、全ての施工技術をご紹介いただくわけにもいかないので、ここで、御社がどのような事業方針で運営を行っているのか、お教えいただきたいと思います。

酒井 当社の事業の特徴を一言で申し上げれば、「施工計画から掘削機の開発・製作、工事までの一貫作業を担う」ということだと思います。私の経験では、現場で何か問題が起こると、施工者は「掘削機の不具合が原因」と言い、機械メーカーは「施工者の扱い方が下手」と言って、だれも責任を取ろうとしません。私はこうしたことで元請けや協力業者の双方が大きな損失を被ります。そのため、施工には自社開発の掘進機を使用し、現場の土質や施工条件が概ね提示された通りなら、施工の責任は負うべきと考えております。その代わり、事業継続にはそれなりの活動費や利益が必要です。これが当社の「P→D→C→A」を継続するための企業方針です。

— 施工を行っているからこそ、現場のニーズに適合した掘削機の開発が行えるのでしょうか。

酒井 当社の事業を大まかに申し上げれば、「インフラ管渠推進」の事業が売上げの50～60%、「ボックス推進工法を用いた地下空間」の施工が35～45%、他、「掘削機の販売や貸与」が5～15%となっています。

売上高の10～15%は設備投資に

— ところで、御社のように、掘削機まで自社開発するとなると、そのための費用は、かなり掛かるのではないのでしょうか。

酒井 おっしゃるとおりで、当社では、新規製作を入れて売上高の10～15%を設備投資に充てています。また、新しい工法の確立までには第三者による客観的な検証が必要となります。例えば、過去に九州大学との実証実験により工学的な検証をおこないました。発注者側の理解を得るには、相応の客観的なデータが必要で、当初の共同実験には約5千万円の費用がかかりましたが、今でも必要な投資だったと思っています。

働き方改革の推進

— 「企業の礎は人」とであると言われていますが、御社では、どのような対策を講じておられますか。

酒井 自分の若い頃は、昼夜2交替制が基本で休む暇もなかったですが、経営に軸足を移してから、それではいけないと痛感しました。今期は月平均の労働時間を161時間、年間労働日数は242日で計画しています。見積条件では4週6休を前提とし、将来的には4週8休に進みたいと思います。そのためには、安全施工の徹底を基本に効率化を図り、後続設備の機能や能力向上に設備投資を行います。また、施工計画や作業手順書、Q & A等はできる限り事務所在籍の技術部、機械部、工事・工



務部が担います。中でも、資格を持った女性社員が多く、現場業務には精通して習熟度が高いため、現場はかなり助かっていると思います。将来的には掘進機の遠隔操作オペレータも女性が担う時代が来るでしょう。

将来の夢 ～歩行者の交通事故防止と 迅速な防災対策工～

— 今後やりたい事業、といったものはあるのでしょうか。



酒井 栄治 (さかい えいじ)

1953 年 徳島県生まれ
1971 年 3月 徳島県鳴門市立工業高等学校機械科卒業
1976 年 4月 シールド工事専門会社に入社
1985 年 5月 秋田大学鉱山学部 探鉱地質課程(通信制)修了
1994 年 9月 新技術工営株式会社推進事業部開設:
取締役推進事業本部長
1999 年 7月 同社分社・推進事業本部を法人化:
株式会社アルファシビルエンジニアリング設立:
取締役施工本部長兼代表取締役(現任)
2005 年 3月 九州大学大学院工学府地球資源システム工学専攻
後期博士課程修了:博士[工学]取得

酒井 個人的には残された時間は少ないですが、事業承継を念頭に非開削技術の市場拡大に励みたいと思います。まず、交差点などで高齢者や子供も安心して通行できる「歩行者地下通路」の整備です。一時期、横断歩道橋が各地につくられましたが、高齢者には階段を上るのが苦痛で、鉄製であるための経年劣化、落下や投石等の問題などから、現在では撤去の方向にあります。その点、「歩行者地下通路」は、スロープをつくれば、車椅子やお年寄りも通行可能で、耐用年数も長くなります。「開かずの踏切歩行者通路」や子供達の「スクールゾーン横断通路」は安全生活が向上します。また、アンダーパスの水溜まり事故に対しても、排水釜場や排水ポンプの設置は設計上可能と思います。また、大雨災害の地すべり対策にも推進工法は有効だと思います。斜面に近接した地域での法面崩壊復旧工事は、両端の安全な場所に立坑を設け、そこからL型又はT型擁壁の基台となるコンクリート函体を推進工法で埋設すれば、二次災害の危険を冒さずに迅速な対策工が可能になると考えています。

「地下掘削の面白さ」に魅了された半生

——最後に、酒井社長ご自身のお話を伺いたいと思います。大変ハードなお仕事をなされながら、社会人として秋田大学や九州大学大学院で勉学にも励まれていたのですよね。

酒井 はい。私は、1976年に半機械式圧気シールドトンネル（下水道幹線）の工事に従事して以来、「地下掘削」中心の人生を歩んできました。働き始めた頃は、「開発業務の伴った工事屋で生きる」と思っていたのですが、ひょんな成り行きから、企業経営の責任を担う立場となりました。私は、現場での様々な経験だけでは対応不足と思い、工学的検証や他業種の知識も必要と考えました。例えば、29歳の時に入学した秋田大学鉱山学部採鉱地質課程（通信制）では「安全で経済的な坑道掘削等」の考え方を学び、49歳で九州大学大学院地球資源工学部門に入学を許可されました。それぞれの課程では土木系技術者にはない考え方が大いに参考

となりました。今思えば、仕事が厳しい時にこそ、勉学に対する意欲が湧いてきたような気がしています。

——本日はお忙しい中、大変ありがとうございました。



インタビュー後記

今回のインタビューでは、事前に酒井社長と夕食をご一緒させていただき、様々なお話を伺ったため、併せて4時間ほどお話を伺ったことになるとと思います。地下開発工事に関しては、現在でも漠然とした理解しかできていませんが、酒井社長の仕事にかける熱意や、日本の社会基盤整備に貢献したい、という情熱は十分理解できました。

酒井社長ご自身の経験談も大変興味深いものがありましたが、紙面の制約から割愛せざるを得ませんでした。私の受けた酒井社長の印象は、「刻苦勉励努力の人」です。

聞き手：当協会専務理事
前野 陽一



工法紹介動画

※1 ボックス推進工法

<https://www.youtube.com/watch?v=sZGoNQdyRb8>



※2 超流バランスセミシールド工法

<https://www.youtube.com/watch?v=ZQIFSFvthHg>



企業データ

社 名：株式会社アルファシビルエンジニアリング
事業内容：管路工事・地下空間構築工事・ボックス推進工事
設立：1999年7月
所在地：福岡県博多区山王1丁目1-18
従業員数：36名(2022年9月現在)
ホームページ：<https://www.alpha-civil.com/>



【第2回】



あたらしいことを、はじめやすい都市。
福岡県北九州市。

北九州市長

北橋 健治 氏



「医食住」の揃った北九州市に ようこそ

北九州市というと、皆様何を思い出されるでしょうか。私と同年代の方々であれば、「日本の四大工業地帯の一つ」とか、「鉄鋼業の街」というイメージをお持ちかもしれませんし、「環境産業の先進地」や「無法松の一生の舞台」といったことを思う方もおられるかもしれません。

しかし、現在の北九州市は、もっと「多面的な顔」を持っています。

北九州市長の北橋健治様から、北九州市の歴史、精神文化、産業などについて、じっくりお話を伺いました。

住みやすい街、住んでみたい街 ～北九州市の魅力～

— 本日は、公務大変お忙しい中、インタビューに応じいただき、ありがとうございます。始めに、大変漠然とした質問で恐縮なのですが、北橋市長が感じておられる北九州市の魅力とは、どのようなものなのでしょうか。

北橋 北九州市の魅力を一言で申し上げ

れば、「『医食住』が揃っている街」であることです。北九州市は、「住みやすい街、住んでみたい街」です。一つずつ具体的にご説明していきましょう。

まず、「医療」についてですが、人口10万人当たりの病院数は東京都区部の2倍以上であり、特に小児医療に関しては、全国的にも高い評価を得ています。医療関係者の皆様方のご尽力に加えて、官民の協力体制が、充実した医療提供体制を支えています。

次に「食」ですが、北九州市は、海の幸や山の幸に恵まれており、お刺身の盛り合わせの年間支出額は日本一（総務省家計調査・令和元年～令和3年平均）です。回転寿司では食べログで3年連続日本一になっているお店もあります。また、イワシやサバなどの青魚を糠みそで炊き込む「糠炊き（ぬかだき）」は、江戸時代から続く小倉城下町の郷土料理です。そのほか、門司港の「焼きカレー」や、小倉発祥の「焼うどん」などのご当地

グルメも有名です。

最後に「住」ですが、大都市であるにもかかわらず、地価が手頃で、家を所有するにしても借りるにしても、コストが安い、というメリットがあります。令和2（2020）年度の総務省の調査では、北九州市の借家家賃は、政令指定都市の中で最も安い水準という結果が出ています。

全国一の北九州の夜景

——なるほど。北九州市は、北九州空港や新幹線の小倉駅もあり、出張は日帰りで全く問題ないのですが、できれば1泊して北九州市のおいしい食べ物を味わった方がよさそうですね。

北橋 もし北九州市にお泊まりいただけるのであれば、是非堪能していただきたいのが、北九州市の夜景です。本年3月に行われた「夜景サミット」において、全国約6,100名の夜景観光士による投票によって決定する「日本新三大夜景都市」が発表され、北九州市がランキング1位で認定されました。平成30（2018）年に初めて認定され、今回はランキング1位での再認定となります。北九州市には、「皿倉山」や「高塔山公園」、今年8月に認定された「若戸大橋」など、「日本夜景遺産」が8つもあるほか、「小倉城」や「門司港駅」など 歴史的な建造物のライトアップや「工場夜景」など、豊富な夜景観光資源があります。

——夜の街を出歩くとなると、治安も気になるところですが、北九州市は治安状況が格段に良くなっているのですね。

北橋 そのとおりです。ピークであった平成14（2002）年と比較して、刑法犯認知件数が約87%減少しました。この減少率は、政令指定都市でトップです。平成14（2002）年当時、北九州市内に暴力団の事務所があり、様々な問題を引き起こしていました。私は、「暴力を追放しない限り、北九州市の未来はない」と考え、市長1期目から、警察、行政、市民一丸となって暴力団追放運動に尽力してきました。市長就任から約7年半という長い月日がかかりましたが、ついに平成26年（2014）年に、警察が暴力団のトップを逮捕しました。市民の安全意識の高まりもあり、子供の見守り活動なども行われ、自転車窃盗などの一般犯罪もかなり減少しました。

競い合いながら成長する五つの地域

——話は変わるのですが、北橋市長に会いするために北九州市を調べたところ、「北九州市は、豊前国と筑前国にまたがっている」ということを知りました。こうした都市は、日本でも珍しいのではないのでしょうか。

北橋 そうかもしれません。北九州市は、昭和38（1963）年に門司、小倉、若

松、八幡、戸畑、のいわゆる「五市対等合併」によって誕生しました。これは、日本だけでなく、世界的に見ても珍しいことです。通常は、大きな都市が周りの小さな市町村を吸収合併するのです。したがって、交通渋滞や、地域の集積も、他の政令指定都市とはかなり趣が異なります。門司は港町、小倉は城下町、若松・八幡・戸畑は工業都市と、それぞれ特徴を有しています。それぞれの地区が、街の個性、魅力、特性というものを大事にしながら、お互いに切磋琢磨をして、市全体として発展を期するというスタイルで60年近く来ました。全国的に見て都市公園が多いのも、それぞれの地区が独立していることによるところが大きいと思います。

移住者に優しい街

——北九州市からは、有名人も数多く出ておられますね。

北橋 はい。作家では、松本清張さんや平野啓一郎さん、漫画家では、松本零士さん、北条司さん、スポーツ関係では、体操の内村航平さん、卓球の早田ひなさん、ラグビーの山田章仁さんなどがおられますし、タレントのリリー・フランキーさんも当市出身です。北九州市の特徴は、明治維新以降、全国から製鉄所などで働くために、文化も言葉も違う人々が集まってできたことだと思います。様々なバックグラウンドを持った人々が集まって、『無法松の一生』にあるような義理と人情に溢れた庶民的な街が生まれました。人材はどの地域からも出ていると思いますが、北九州市では、様々な精神文化が交わる中で、アーティストや作家が生まれてきたのだと思います。当市は、全国から、「ここで腕を磨いて、良い仕事をして、一家を為して、家族で幸福に暮らそう」と考え、移り住んだ人たちが作り上げた街です。したがって、他地域から当市に移ってきた人たちには、非常にフレンドリーな街です。



皿倉山の夜景

ものづくりのDNAが 息づく街

— 北九州市の魅力について、大分お話を伺ってきたので、ここで北九州市の産業基盤に関する話を伺いたいと思います。今更ながらといった質問かもしれませんが、北九州市に企業が立地するメリットは、どのようなものがあるのでしょうか。

北橋 歴史をひも解けば、何故北九州市で産業が根付いたかがわかると思います。

まずは、充実した物流インフラがあることです。明治20（1887）年頃の日本には、国際貿易港と言えば、横浜港、神戸港、門司港の三つしかありませんでした。筑豊地域で石炭が取れたこともあって、官営八幡製鉄所が明治34（1901）年につくられ、最盛期には4～5万人の正社員の人たちが24時間勤務に働き続けてきました。操業を続けていく中で、関連協力企業を含めて、技術力や資本力もつき、製鉄業以外の産業が生まれていきました。ものづくりのDNAというのがしっかりと根付いたわけです。洋上風力発電やごみ発電なども、こうしたところから生まれてきたわけです。

物流に話を戻せば、大正3（1914）年には、門司駅新駅舎（現在の門司港駅）が完成しました。現在では、新幹線のぞみの停車する小倉駅があることは皆様ご存じのことでしょう。24時間稼働する北九州空港は、滑走路の延長に向けて動き出しましたし、東九州自動車道の開通により、北九州市は、本州、東九州、西九州の結節点の地位を確立しました。更に、瀬戸内海と日本海に面した東西2つのコンテナターミナルのほか、フェリー・RORO船、在来船に対応する多彩な港湾施設も整備されています。物流という面から見れば、北九州市ほど恵まれた立地地点はない、と言っても過言ではないでしょう。

また、地理的に見れば、北九州市は、成長が期待される「環黄海」に位置していることもメリットの一つです。北九州市は、平成16（2004）年に設立された「東アジア経済交流推進機構」＜日本

4都市（北九州・下関・福岡・熊本）、中国4都市（大連・青島・天津・煙台）、韓国3都市（仁川・釜山・蔚山）により構成＞の事務局を務めています。

しかし、物流以上に強調したい企業立地上のメリットは、理工系を中心とした多くの優れた人材がいる、ということです。まず、北九州市は90万人以上の人口を有しており、通勤圏内である近隣市町村を含めると約200万人がいます。加えて、理工系大学、高専、工業高校などから、毎年約3,000人の人材が輩出されています。産学共同研究もやりやすいというメリットもあると思います。

— 北九州市の資料の中で、北橋市長が、市内の教育機関だけでなく、周辺地域の高専等にも出向いておられる、と書いてあったのを思い出しました。

北橋 企業誘致の決め手は、求める人材が安定的に採用されるかどうかが大きいです。市役所が、企業の人材確保のお手伝いをするために、まず、周辺地域の100くらいある教育機関と「顔の見える関係」を作るため、私が率先垂範して出向いています。

— 最近では、IT企業をターゲットとして、企業誘致を図っておられる、とお聞きしましたが。

北橋 平成26（2014）年度から、本格的にIT企業誘致を開始しました。IT企



業を誘致するには、まず企業が欲しい人材確保のために、行政が親身になってサポートすることが重要と思っています。また、IT企業が魅力を感じる施設を提供することも必要です。当市では、北九州市の予算を使って、小倉駅前の商業ビルをIT仕様に改装しました。その上で、GMOなどの著名なIT企業に立地していただき、他のIT企業にも「北九州市に立地したい」と思っただけの体制を整えたのです。立地していただいたIT企業の社長さん方が、「北九州市は、生活がしやすいし、人が集まりやすいし、なかなか悪くないよ」という話を、他のIT企業の方々にお話しただけのように、市役所としてもサービスを続けていきたいと思っています。



北橋 健治（きたはし けんじ）

1953 年 兵庫県生まれ
1986 年 7 月 衆議院議員初当選
1994 年 4 月 大蔵政務次官
1996 年 12 月 運輸委員会筆頭理事
1998 年 8 月 衆議院環境委員長
1999 年 11 月 大蔵委員会筆頭理事
2005 年 11 月 地方制度調査会委員
2006 年 3 月 行政改革特別委員会筆頭理事
2007 年 2 月 北九州市長
2011 年 2 月 同市長（2期目）
2015 年 2 月 同市長（3期目）
2019 年 2 月 同市長（4期目）

— 市役所のお仕事にDXを活用するため、「デジタル市役所推進室」をおつくりになったと聞きました。こういう姿勢の市役所だから、IT企業に対してフレンドリーだろうといったアピール効果も、あるものなのでしょうか。

北橋 そのようにつながっていくとすれば、ありがたいことです。DXについては、若干、市長としても無我夢中でやってきたところがあります。市民サービスの向上のためには、DXの推進は不可欠であり、トップである市長のリーダーシップは重要ですが、それだけでは物事は進みません。そのため、DXについて専門的知識を有する方を、総務省から局長級ポストにお迎えして、頑張っていたいただいています。

— そのほかに、北九州市に立地するメリットといったものはあるでしょうか。

北橋 北九州市にお住まいの方以外には、あまり知られていないかもしれませんが、「北九州市は、災害が少ない」という特徴があります。例えば、有史以来、大地震があったとか、火山噴火があったとかいった記録はありません。また、台風が直撃する、といったこともありません。こうした特徴を踏まえて、近年データセンターが立地しています。

「釣月耕雲」こそ理想の生活

— ここで、北橋市長ご自身のお話をお聞きしたいと思います。北橋市長は、衆議院議員を6期お勤めになられた後、平成19（2007）年7月から北九州市長をなさっておられる、と承知しております。そもそも、政治家を志された理由とは、どのようなものだったのでしょうか。

北橋 私は、左翼の各セクトが激しくも

み合っていた時代に大学生活を送りました。資本論などを読みましたが、やはり革命とか独裁ではなく、結論はイギリスとかドイツとか北欧の福祉国家のように、議会を大事にして一步一步という路線が良いと思いました。日本では、自民党一党の政治が続いていましたが、政界再編成の夢にかけて、民社党本部に勤務することとなりました。その後、衆議院議員となり、政界再編成に努力しておりましたが、縁あって北九州市市長選挙に立候補することとなりました。

— 座右の銘といったものがあればお教えいただきたいのですが。

北橋 私は、佐々木良作民社党委員長の下で政策秘書をしており、佐々木委員長の座右の銘である「一日生涯」という言葉を、衆議院議員になってからも使わせていただきました。「一日生涯」とは、「毎日毎日が大事である」という意味なのですが、あるお年寄りから「あと一日しか生きられないようで、何となく寂しいから他の言葉を探してくれ」と言われてしまいました。そこで、別の言葉を探している中で、「釣月耕雲」という言葉を見つけ、以後この言葉を使うようにしています。

— 初めてお聞きする言葉なのですが、どういった意味なのでしょうか。



北橋 世の中の人々は、生活することに必死で、仕事に追われ余裕などない、というのが普通ですよね。しかし、そうした中で、ふと心にゆとりを持って、月をゆっくり眺めてみるのもいいのではないかと、毎日の実生活を離れて花鳥風月に遊んでみるというのもいいのではないかと、といったことだと思います。

— 本日は、お忙しい中大変ありがとうございました。



インタビュー後記

北九州市には、これまで出張で何回か訪れましたが、要件先を訪れるだけで、北九州市の魅力といったものに触れる機会は、ほとんどありませんでした。その意味で、今回のインタビューは、驚きの連続であった気がします。

鉄鋼業を中心とした工業都市のイメージが強かった北九州市ですが、観光客として来てみたい、と思った次第です。皆様に、北九州市の魅力の一端だけでもお伝えできれば、幸いです。

北橋市長は、大変穏やかな方で、私が質問をすると、数秒お考えになった後、極めて分かりやすいご説明をいただきました。私にとっては、楽しいインタビューでした。

聞き手：当協会専務理事
前野 陽一

北九州市データ

県庁所在地：北九州市小倉北区城内1番1号
人口：924,654人（令和4年9月1日現在）
面積：492 ㎡
交通：飛行機／東京から1時間35分
新幹線／東京駅から4時間48分
（のぞみ利用）
URL：<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/>

